

筑波大学新聞

第224号

編集責任 筑波大学新聞
編集委員会 委員長 嶺 隆

TEL: 0298(53)2040-2041
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

本学から3件採択

21世紀COE

世界最先端の研究に、重点的に予算を配分する文部科学省の「21世紀COEプログラム」の選考結果が十月一日、明らかになった。本学からは、三分野から三件のプログラムが採択された。今年から五年間、予算配分される。北原保雄学長は「もう少し獲得できればよかった」と語っている。(2面学長インタビュー)

先端研究に重点配分

COEプログラムは、初会を中心に運営される21世紀年度分として今年七月、五紀COEプログラム委員会(委員長「江崎玲於奈・芝浦工業大学学長、前本学学長」)が二月月間審査し、五十大学百十三件のプログラムを採択した。このプログラムは、昨年

生命科学 バイオと農学を融合

物質科学 白川 名誉教授の実績も評価

学際複合 スポーツ科学の拠点

高い実績をあげた、各分野のキーパーソンを擁している。生命科学の分野からは、深水昭吉教授(応用生物化学系)を拠点リーダーとする研究が選ばれた。動物・植物・微生物の三者間それぞれの相互作用を、分子レベルで体系的に明らかにする。複雑な生物の生化学的機構の解明も目指す。

「我々がこだわったのは、農学的利用という点だ。製薬事業や、環境汚染を改善

する技術など積極的に社会還元する」と語る。プログラム名は「複合生物系応答の生物機能科学専攻が中心

満、要望が相次いだ。直

23日に広聴会を開催

駐車場の有料化・ゲート化が実施されてからの広聴会が十月二十三日午後六時からD204教室で開催される。有料化から半年、利用者の間に戸惑いや不満、要望が相次いだ。直

「僕の場合は、二十人中、たった一人しか、取りに来なかった。君らが主張する改善は、本当に学生の声を反映しているのか。その意見に、学生側は反論できなかった。議論は紛糾した。学生の皆さんが自主的に改善しようとしたことです。筋が通っていません。いや、いいやないですか。ややを重ねた教員は、そうやって場を取り繕った。学生の自治、という言葉を聞かなくなってきた。学生組織に携わる人々は言う。『一般の学生の意識が低すぎる』と。しかし、意識の高い学生の意見と、一般の学生のそれとの隔たりを感じることも多い。『新しい大学自治をうち立て間もなく三十年。学生の声をよく聞き活かすシステムは本当に成功したのか。学生の活気みなぎる学園祭を眺めながら、ふと想った。

新しい筑波大発足

図書館情報 専門学群が誕生

戦後初の国立大学統合

本学と図書館情報大は十月一日、国立大再編の先陣を切って統合した。国立大学の統合は戦後初めて。図情大の三期期制と図書館情報専門学群の受け入れは来年四月からで、一日はまだ法律レベルでの統合だ。

統合に伴い、新組織として図書館情報専門学群(学群長「植松貞夫図書館情報学系教授」)、図書館情報メディア研究科(研究科長「磯谷順一同学系教授」)、図書館情報学系(学系長「田畑孝一教授」)、知的コミニ

ニティ基礎研究センター(センター長「石井啓豊同学系教授」)が発足した。図情大の入り口には、「筑波大学春日キャンパス」の看板が新しく設置された。現在の図情大は在学学生がいる間は存続する。図情大の吉田政幸学長は学長の職を退き、本学の北原学長が図情大の学長を兼ねる。両大学は二〇〇六年六月

約七百人が出席した。式辞で北原保雄学長は「新しい筑波大学をさらに個性豊かな大学として発展

知事、長尾真国立大学協会

学・筑波大学 統合記念



鏡開きをする(右から)吉田政幸前図情大学長、文部科学省清水孝悦主任大学改革官、藤澤順一つくば市長、北原保雄学長(オークラフロンティアホテルつくばで、写真・山脇学=国際総合学類)

に統合の検討に入り、同年十一月には統合合意書に調印した。その後、両大学の間に統合協議会が設置され、約二年にわたり協議を進めてきた。

「新しい研究分野を切り開く」と展望を語った。遠山敦子文部科学大臣の代理として小野元之文部科学事務次官、橋本昌茂茨城県知事、長尾真国立大学協会



遠山敦子文部科学大臣の代理として小野元之文部科学事務次官、橋本昌茂茨城県知事、長尾真国立大学協会



遠山敦子文部科学大臣の代理として小野元之文部科学事務次官、橋本昌茂茨城県知事、長尾真国立大学協会

谷本 鮮やかに金

第14回釜山アジア競技大会 谷本 鮮やかに金



谷本 鮮やかに金



谷本 鮮やかに金

柔道女子六十三キロ以下級の、谷本歩実選手(体育三年)は決勝戦を得意の内またで圧勝し、金メダルに輝いた。競泳の永井奉子選手(同)は、女子リレー三種目と同メートル自由形で銀、二百メートル自由形で銅メダルを獲得した。(9面に関連記事)

寅市教授見本市に出展 高音質CDに高い関心

産学リエゾン
本学の産学リエゾン共同研究センターが九月二十五日から二十七日まで、東京ビッグサイト(東京・江東区)で行われた「二〇〇二中小企業ビジネスフェア」に出展した。このイベントは、計百六十三の中小企業や研究機関が、ユニークな技術やサービスを、市場創出や販路開拓を目指すものだ。

本学のブースは、主に寅市和男教授(電子・情報工学系)のマルチメディア技術を紹介。独自の情報理論をもとに、良い音質でCDを再生できるオーディオや、画像を拡大して印刷技術(DTPシステム)、類似画像を高速で検索する仕組みなど、最新の研究成果を発表した。ブースの前には、多くの企業関係者が、興味深かそうに説明を聞いていた。

寅市教授の技術を応用し、三機種種のCDプレーヤーを商品



来場者に説明する寅市教授(写真右端)(東京ビッグサイトで)

勤める村山恭則さんは、同教授の技術について「一般企業からすると、信じられないほどの高音質を実現する」と評価。「産官学共同の成果により、心に響く音を奏でる商品を世に出すことができる」と語る。

体育施設の利用、簡便に ウェブ上で予約状況確認

学内体育施設の予約状況の確認と申込用紙のダウンロードが、九月からウェブ上でできるようになった。従来は体育施設を利用するためには、体育センターまで出向き、予約状況の確認と申請用紙の受け取り、教員の承認を得て申請用紙の提出、二三日後に許可書の受け取り、と三回も体育センターまで足を運ぶ必要があった。新しいシステムが導入されると最初の手続きがなくなり、同センターへは二度の往復で済むようになる。現在は事務手続きなどの移行期間ということもあり、旧来のシステムとオンラインのシステムを並行して受け付けを行っているが、十一月にはオンラインのみの受け付けとなる。将

「本学は、研究を社会に活用するという視点が足りない。大学間競争では、東大や東工大などに大きく水をあけられている」と、寅市教授は現状を厳しく分析。「大学が、基礎研究をやるのは当たり前。その上で、世界標準となる応用技術を完成させなければならぬ」と出展の意気込みを語っていた。

最善の努力及ばず

北原学長インタビュー



21世紀COE
八件申請、三件採択。21世紀COEプログラムの審査要項には、個性豊かな研究拠点の実現のために、学長のマネジメントが必要とされている。今回の結果をどうとらえているのか、北原保雄学長に聞いた。(本紙・松尾洋平「人間学類」)

率直に、今回の21世紀COEの結果について、どう思っているか。
非常に残念だと思っ

次回に向け既に戦略議論

選考過程に、問題はあった。これが採択されたこと

「解説」筑波大学のアイ

我々は最善の努力をしたが、及ばなかった。採択されたところは、比較的わかりやすいテーマを掲げていたのではないかと。逆に、今回選ばれなかったものは、もう少し研究テーマをシャープにすれば良かったのかもしれない。

人文科学の分野で一件も入らなかつたのは、私も残念に思っ。反省点として、テーマがややわかりにくかつたのかもしれない、と考えている。

今回採択されたプログラムは、募集要項が決定してから申請まで、わずかの期間しかなく、それでも各機関の研究者や大学院生の研究支援が、次回は十分に準備したい。すでに現在、副学長を中心に、プロジェクトの検討に入っている。

「解説」筑波大学のアイ

「解説」筑波大学のアイ

続々!学内リニューアル 新研究棟が建設開始 学生の声で食堂改装

医学食堂

今年度のキャンパス・リニューアルの一環として、医学食堂が改装されることになった。十月三日、同食堂で新しいデザインを考えるワークショップが開催された。参加したのは小場瀬令二教授(社会工芸系)や同研究室の学生、医学の学生、本学職員など約四十人。ワークショップでは、現在の問題点や新食堂のコンセプトなどが話し合われた。木目をふんだんに使った食堂や、レストラン調の食堂などのアイデアが提案された。

総合研究棟

大学院博士課程の、システム情報工学研究科と数理物質科学研究所に対応する総合研究棟B棟の建設が始まった。九月十二日、北原保雄学長ら約六十人が参加し、安全祈願式が行われた。式では、北原学長による献入の儀などが行われ、工事の安全を祈願した。

体芸食堂

体芸食堂のメニューを見直し、多くの人に好まれるメニューを提案することを目的として、九月十九、二十日に「体芸食堂リニューアル企画・フードピクニック」が開催された。十九日の昼には体芸食堂三階で、パワーアッププロジェクトと「ヘルシーピクニック」がそれぞれ限定百食販売された。弁当を食べた体育の学生は、「いつもコンビニの弁当ばかりなのに、野菜もフルーツもとれるメニューはうれしい」と満足げだった。

ツインズ

ツインズの一部に弱点発覚
新学務システム「ツインズ」の顔写真のデータが、URLを類推すれば、学内のネットワークから認証なしで取得できることが、三日までに明らかになった。すでにアクセスできないように対策が施されている。「確かにガードが甘くなっていた。住所や成績などの個人情報、厳重なセキュリティがかかっているのに、安心して欲しい」と、新学務システム運用委員長の腰塚武志教授(社会学系)は述べている。

本学と協定書締結

茨城産業会議
本学と茨城産業会議の産学連携に関する協定書の締結が十月七日午後、水戸市の茨城産業会議館で開かれた。北原保雄学長、西野虎之介茨城産業会議議長ら約二十人が出席した。締結式に続いて、北原学長が「産学官連携と大学の役割」と題し記念講演を行った。



茨城県学生団体支援組織「くっぴい」の設立総会とシンポジウムが九月十六日、茨城県東南生涯学習センター(土浦市大和町)で行われた。「くっぴい」は、茨城県内の福祉、国際協力などの学生団体がネットワークを構築し、交流と運営支援を推進するためのNPOぐっぴい設立

学生団体の交流計る
組織。木村亮介さん(社会二年)が代表理事となり、他大の学生に呼びかけて設立準備を進めてきた。メンバーは本学や常生に活動の場を与え、人材不足に悩む団体への人材パ

本学と協定書締結
茨城産業会議
本学と茨城産業会議の産学連携に関する協定書の締結が十月七日午後、水戸市の茨城産業会議館で開かれた。北原保雄学長、西野虎之介茨城産業会議議長ら約二十人が出席した。締結式に続いて、北原学長が「産学官連携と大学の役割」と題し記念講演を行った。

本学と協定書締結
茨城産業会議
本学と茨城産業会議の産学連携に関する協定書の締結が十月七日午後、水戸市の茨城産業会議館で開かれた。北原保雄学長、西野虎之介茨城産業会議議長ら約二十人が出席した。締結式に続いて、北原学長が「産学官連携と大学の役割」と題し記念講演を行った。

「え～留学生が一席うかがいます」

1年間の研修成果を披露 落語通して日本文化研究



日本人を前に、留学生が
一席。日本語・日本文
化研修留学生のハリト・ム
ズラックルさんが、一年間
の研修の成果を披露する落
語会を九月十二日に二二
〇九教室で開いた。写真
この日のハリトさんの演
題は、「幽霊の辻」とい
う落語。若い男に道案内をす
る老婆が、様々な怪談話を
して男を怖がらせるという
内容だ。老婆とその話に驚
える若い男との巧みな演じ
わけに、約三十人の来場者
は熱心に聞き入った。
ハリトさんが落語に興味
を持ったのは今年三月、日
本語学習の一環として、授

遠藤教授

内閣府専門委員に 日中交流の実績が評価

留学生センターの遠藤
教授(物理学系)が八月
八日、内閣府総合科学技術
専門委員に任命された。今
後は国が計画する研究開発
型ベンチャーのプロジェクト
に今までの経験を生か
し、アドバイザーとして
教授は内閣府に呼ばれ、
中国の現状について意見を
求められた。
中国では九五年に既に大
学が法人化されており、産
学連携が盛んである。遠藤
教授は中国の産学連携が日
本と比べていかに進んでい
るかを尾身大臣に語った。
遠藤教授は尾身大臣から中
国及び日本の科学技術、産
学連携についての建議をし
て欲しいと頼まれ、今回の
役職に就いた。
八月二十五日には尾身大
臣に伴って訪中し、北京
大学方正を はじめとする

15カ国から90人参加 ITの国際会議開催

電子・情報工学系の教員
が運営の中心となり、国際
科学技術開発協会主催の
「ネットワーク、並列・分
散処理及び応用に関する国
際会議(NPDP A200
2)」が十月二日から四日
まで、つくば国際会議場
(つくば市竹園)で開催さ
れた。
これは情報技術の最新の
研究成果を発表し、国際交
流を目的としたもの。国際
都市つくばのアピールの意
味もある。
会議では、十五カ国の研

抗議文を提出

教授(電子・情報工学系)
は、いろいろ大変だったが、
海外の最高水準の学者の協
力が得られた。有意義だっ
たという参加者が多くいて
良かった」と感想を述べた。
この問題は、九八年度に
本学がスキルムントさんと
の雇用の契約更新を拒否し
たことに起因するもの。原告
側は、当時の外国語センタ
ー長が本学附属病院で治療
を受けていたスキルムント
さんの病状を、医師から聞
きたし、契約の更新を拒否
したことは、解雇権の乱用
と主張。抗議文では、法廷
で本学側が主張した人権侵
害はなかったとする態度に
抗議している。さらに、現
在スキルムントさんが東京
地裁で国などを相手取り起
こしている国家賠償請求訴
訟で、裁判所が人権擁護の
立場から誠実に審理を尽く
すことを求めている。
国家賠償請求訴訟は九月
十日に結審し、十一月八日
に同地裁で判決が下され
る。



来日して二十五年。母国アフガニスタンの情勢をずっと日本から見守り続け
た女性がいる。つくば市で英会話教室を営んでいる駿深(するま)に「トコペ
カイさん(八三年教育研究科修了)だ」写真。
女性の自立と子供たちの教育を支援する「希望の学校」を母国で設立するた
め、八月から九月にかけての三週間に、夫ナデルさんと来日以來初めて、故郷
を訪れた。(本紙・山脇学「国際総合学類」)



「実際にしてみると、言
葉にならない。体中に電気
ショックが流れた。破壊
された街を見た印象を語る
駿深さんの表情は険しい。
二十五年ぶりに地を踏ん
だ首都カブールは、あまり
にも変わり果てていた。建
物は網の様に穴が開き、ど
の家も半分以上破壊されて
いた。
「治安は、タリバン時代
を守る」ことができる。「精



よみがえったアフガニスタンの笑顔(提供・駿深さん)

「みんな、昔のカブールを探している」と駿深さんはいう。二十年前、アフガニスタンは平安であつた。だが、長い間の内戦で味わった恐ろしい

「希望の学校」への支援金は郵便振替で、「希望の学校」をアフガニスタンに「001200・8・161565、事務局」090・1259・9907 E-mail: osakura@nsn.com

「希望の学校」代表。アファニスタンの首都カブール出身。カブールで英語教育を学んだ後、四年間短期大学の教壇に立つ。七七年に体育教師の夫が本学へ留学したのを機に、科教科教育専攻英語教育コースに学ぶ。現在、ボランティアグループ

「古き良き祖国取り戻したい」

「古き良き祖国取り戻したい」
「今の日本は豊かで平和
と切実に願う。」
「希望の学校」代表。

「希望の学校」への支援金は郵便振替で、「希望の学校」をアフガニスタンに「001200・8・161565、事務局」090・1259・9907 E-mail: osakura@nsn.com

「希望の学校」代表。アファニスタンの首都カブール出身。カブールで英語教育を学んだ後、四年間短期大学の教壇に立つ。七七年に体育教師の夫が本学へ留学したのを機に、科教科教育専攻英語教育コースに学ぶ。現在、ボランティアグループ

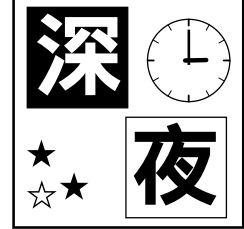


フロレスク・コスミン・ミハイ

異邦人から見た筑波 一番の友達は自転車？

日本のつくばには、と
てもユニークな人々が存
在する。彼らは皆、自転
車に乗って移動している
よつで、エアコン付きの
大きなテント・図書館
か、教授達が不思議な生
き様を講義する教室へと
向かう。
私は異邦人だ。自転車
に乗ることはできるが、
つくばの住人になるため
には何が足りない。自
転車は乗り物である以上
に乗り手の振る舞い、考
えたことを象徴するもの
のようだ。ここでの暗黙
の了解納得しがたいが、
人は実体的ない影の
よつに演じなければなら
ないことだ。道で仲間と
すれ違つても決して止ま
ることはない。「おはよ
う、おつす、お疲れ、
「飯は食ったのか。これ
らの挨拶は自分の存在を
実感するための作業で、
返事を期待しているわけ
ではない。一番の友達
……自転車。私の友達も
想のよつなものに囚われ
待つような人間ではな
い。実のところ、私はク
ラブ活動の真似事を自分
自身で始めてみようとし
た。残念なこと、私は
この文章のように自分を
英語で流暢に表現しすぎ
るため、私が語りかけよ
うとする人々を遠ざけ
てしまつた。私の文章をこ
こまで読むという骨折
りを経験している人も、メ
ンバーなしで一体どのよ
うにクラブを作るのか。
そのことに興味があると
思う。そんな貴重な情報
を共有するには一杯のピ
ールが、ちょうど見合
た値段だろつ。
書いたことを読み直す
と、また自分のことを語
つてしまつた。改めて、
すでに伝説の自転車乗り
となつている人について
役立つかもしれない助言
を一つ、「スーパーの中
に入れないといった(合
理的な)理由だけで自転
車を降りるな。よりよ
い人間関係を築きたい時
にこそ、自転車を降りな
さい。
(原文は英語、ルーマニ
ア・社会二年)

連続放火、暴行事件、恐喝、ドロボー、駐車違反、大騒ぎする隣人。キャンパスの警備にあたるライジングサンはいかに行動しているのか。去る9月27日午前6時から翌午前6時まで、24時間の密着取材をした。



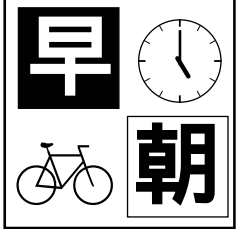
深夜の静寂は、突然に破られた。

「あそこ、誰かいる。」午前3時55分、一の矢共用棟前に不審者グループを発見。赤や黄色の服を着た高校生くらいの少年3人がバイクで傘を差しながら、蛇行運転をしている。よく見ると、バイクのナンバープレートがはずされている。盗難車か。パトロールの車に気付くと、激しくクラクションを鳴らしてこちらを挑発する。「いつも同じ手口で」

ちらを煽ってくる。彼らは札付きのワルですよ」と警備員はいう。

「不審者グループを巡回する。先程から彼らは、共用棟前のペデを往復しているようだ。姿を確認すると、急いで車を降りて彼らを追いかける。小雨がぱらつく深夜、不審者グループとのデッド・ヒートが続く。午前4時22分、本部棟防災センターへ無線連絡。「本部棟応答願います。不審バイク2台発見。一の矢の警備員に緊急応援を要請して下さい。車内に緊張が走る。道の木の陰に隠れたため、追跡中止。私た

不審者発見！カーチェイス



早朝5時19分、体芸地区のライジングサンの長い1日が始まる。人々はまだ深い眠りについている。仮眠中の警備員が体芸中央棟1階の薄暗い控室から起き上

れるようにし車を停車させる。ライトを消し不審者グループが現れるのを待つ。午前4時35分、あ、あれ不審者じゃないですか」と小さな叫び声をあげる本紙記者。指した方向を見ると、不審者グループが南下する2台のバイク。パトロール車は急発進し、不審者グループを追跡する。カーチェイスがはじまった。

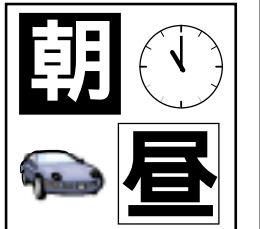
「不審者グループの一人が、ここをあざ笑うかのようクラクションを鳴らす。午前4時42分、不審者グループのバイクが学外に出たため、追跡中止。私た



24時

「ここ立っている」と、学生の方から自主的に、自転車を中庭の駐輪場に入れてくれる」とのこと。警備員の挨拶に大半の学生が心え、奥の駐輪場へと急ぐ。始業のベルが鳴った。その時一人の学生が点字ブロックの上で自転車を停めて慌てて教室へ走り去っていった。そこへさらにもう一台が停まるとそこへ

ライジングサン 密着



徹底した駐車管理 潜む危険を前提に

午前9時30分、巡回パトロールのために、本部棟防災センターを出発。車1台に警備員2名が乗る。不審者・不審物の発見、不審火の予防、駐車違反の取り締まり、ゴミ拾いなど、任務は多岐にわたる。デジタルカメラを携帯しているのは、施設損壊や不審者・不審物の報告用の写真を撮るためだ。



「火災発生時に、違反駐車のために消防車が学内に

午前11時20分、中央口案内センターに移動する。ここは、臨時入構証の発行と、学内の案内が主な任務だ。一日に発行する臨時入構証の枚数は約300枚。警備員1人でそれをこなす。入構証の枚数は、四月に比べると倍に増えたそうだ。「毎朝この案内センター前の道が混むのですよ。もっと臨時入構証の発行の手続きを簡略化すべきです」と案内センターの警備員はいう。

危険伴う宿舎の巡回 学生の安全が最優先

同じ順路で、2度目の窓の施錠確認。個室の施錠確認。トイレの蛇口の確認、そして消灯をする。この時は見回す場所を交代する。「同じ人が2度見回すより、ミスが減り効率的なんです」

「筑波大が、別世界に思えた。密着取材した後の率直な感想だ。学内で繰り広げられた不審バイクとのカーチェイス。



安全なはずの学内は決して安全ではなかった。夜間外出を控えるなどの自己防衛は必須であるという。取材を終えて

24時間の動き(抜粋)			
0時9分	夜間巡回中に違反車両発見	7時0分	体芸地区の教室の開錠
0時5分	巡回終了	8時0分	自転車の整理
1時0分	クレームなどの電話対応	9時0分	午前中の巡回パトロール開始
3時5分	夜間の巡回パトロールへ	9時5分	違反車両発見
3時5分	3人組の不審者発見、追跡	0時0分	一ノ矢学生宿舎地区の巡回
4時2分	追跡中止	1時0分	中央口案内センターで受付
5時9分	体育施設の開錠開始	1時5分	道案内
		2時5分	昼食
		2時0分	体芸地区で事故発生連絡
		2時2分	常連の不審者本部棟に出没
		3時0分	パトロール(交通安全会)
		3時9分	5分施設された車を開錠
		4時7分	3台の違反車両発見
		5時4分	南側のパトロールへ
		6時0分	違反車両発見
		7時0分	パトロール終了、報告作成
		7時0分	第二学群周辺巡回
		8時0分	開錠の依頼
		8時0分	第二学群内の施錠
		0時0分	本部棟内の施錠(随時)
		2時0分	図書館施錠(一学詰所)
		2時0分	サークル会館施錠
		2時0分	夜の巡回
		2時3分	違反車両発見

取材を終えて

安全なはずの学内は決して安全ではなかった。夜間外出を控えるなどの自己防衛は必須であるという。取材を終えて

「筑波大が、別世界に思えた。密着取材した後の率直な感想だ。学内で繰り広げられた不審バイクとのカーチェイス。

「大丈夫ですか。明るい返事が返ってくる。ほっと胸をなで下ろす。

平砂地区を北に向かうと、平砂トンネルがある。この付近は学内で最も危険な場所だ。かつてここでバイク10台に囲まれ、詰め寄せられたこともあるという。

警察とは違い、武器をもっているわけではない。「危険なのでは？」と聞く。「変に彼らを刺激しないほうがいいんです。復讐の矛先が学生に向くのが怖いんですから」という。危険と背中あわせの仕事だ。

「筑波大が、別世界に思えた。密着取材した後の率直な感想だ。学内で繰り広げられた不審バイクとのカーチェイス。

「筑波大が、別世界に思えた。密着取材した後の率直な感想だ。学内で繰り広げられた不審バイクとのカーチェイス。

「筑波大が、別世界に思えた。密着取材した後の率直な感想だ。学内で繰り広げられた不審バイクとのカーチェイス。

人身鏡

何も変わらない？ 筑大生

吉川幸輔(図情大3年)

十月一日、学生会館で図情大と筑波大の統合記念式典があった。皆さん、ご存知だったのだろうか？ 少し気になる思いで私は式典の日を迎えた。

式典に参加した。このこともあり、ほかの学生は、この式典を知っているのかと疑問に思った。片方では授業かたやもう一方は休校。この日、統合のことを考えた人はどの程度いるのだろうか(台風のことの方が大きかったかも)。

この統合に関して、関係者がどの程度関心があったのかは私にはわからない。図書情報大の方では、学期制の変更等いろいろ問題になることも多いが、多くの学生は関心を持っていないように感じる。筑波大内の子はわかんなかったのだが、何人か知り合いの反応を見ると、大して興味を示していない。(筑波大学にとっては)何も変わらない

図情大生の主張2

涙を呑んだ3学期制移行

高橋哲彦(図情大2年)

大企業が倒産寸前の企業を吸収する、という構造に似ている。具体的には、二学期制から三学期制への移行である。然るに、涙を呑むこと

り、またこれまで完全無料だった駐車場の有料化などである。その中でも特に紛糾したのが、苦情が多かった。この程度で、三学期制である。テストの数が減るといって、学問追求という面から見れば本当は喜ぶべきなのかもしれないが、常識的にはとばかり以外は何物でもない。これを怠慢と呼ぶのは酷に過ぎると思われ。

学生団体支援組織ぐっぴい

社会活動の窓口

木村亮介(社会2年)

てしま、社会に対して意識する向けていく環境であることには、誰もがうなずくと思えます。しかし、たとえ「陸の孤島」であって、短いようで長い四年間を楽しくするタネはたくさんあります。

筑波時評

普段ほとんど世人の興味を引かない問題が、日頃その問題に興味のある人間をもひっきりさせるくらい注目されることある。

先般の九月十九日に東京地裁民事第四十六部で下された一つの判決も、そうであった。青色発光ダイオードの発明者として、今やあまりにも有名になった中村修二氏が、その発明の特許権は開発時に在籍した会社に帰属しているもの、会社の職務とは関係のない発明であるし、会社に譲ったつもりもない、もし譲ったとしても十分な対価を受け取っていないとして、会社に対して、当該特許権の一部を会社から

青色LED訴訟 特許の権利はどこに帰属？ 個人と組織の在り方を問う



平嶋竜太

中村氏は僅か二万円の報酬しか与えられなかった。元従業員が会社を訴えた、二十億円という高額請求を行った、中村氏自らメディア等を通じて企業イメージを向上を声高に訴えた、雇用関係が流動化し他人事ではない人が増えた等々。

とを所与として受け容れざるを得ないのであるが、実はそれをささやかながらも「逆転」できる術が、既存の法律、特許法三十五条の中に隠されていた！

しかし、もっとも大きな理由はより深層にある。すなわち、組織と個人の間に築かれていた旧来の信頼関係が至るところで崩壊しつつある日本の現況の中で、個人の在り方について、行方に対する漠然たる不安感とか、日本社会に

ならその成果が属する才能や努力、自由な発想に拠るところが大きく、「個人」としての自律性が最大限必要とされるはずの領域に身を置く者も、ほとんど例外なく、「組織」に埋没した「個人」として、あらゆる面で「従属関係」に入ること

なるほど、いかなる場合でも、発明についての特許を受ける権利は必ず「個人」としての自律性がある、という構成をとる日本特許法は、発明者として「個人」を保護する、という理想を貫いており、誇るべきものといえる。けれども、その理

いく事になるであろう。多岐にわたる民主主義世界に於いては、マイノリティーは常に踏みにじられていくのみなのである。別に左翼と嫉妬というが恨みというか、そういう負の感情が湧いてくるわけである。何故か、我々だけが不便を強いられなくてはならないのか。そして、合併されるわけを考えると、やはりそれであるから、とにかくお互いに仲良くやっていくことを希望する。

読者はあなたのためにも

投稿募集

本紙では皆さまからの投稿を募集しています。

大学改革
学内問題に対する意見
サークルの案内
学類のニュース
学生からの意見
何でも、お気軽に投稿下さい

編集室: 共同研究棟 A-104
電話: 0298-53-6699
FAX: 0298-53-6570
e-Mail: masihinbun@sakura.cct
企画部 大学広報課: 本部棟6階
電話: 0298-53-2040
FAX: 0298-53-2014

「大学ボランティアセンター」を筑波大学にも設立することです。学内に窓口願います。(茨城学生団体支援組織ぐっぴい) 代表理事、メールアドレスは znt@rail.acadnet.ne.jp

マイスター 群像

「縁の下の力持ち」筑波にいるのは学生や教員だけではない。最先端の研究を、大学の教育を陰で支えるマイスターたちがいる。修練が生んだ知られざる職人の手業。筑波のマイスターを紹介する。

オンリーワンの義歯を

ワックスと呼ばれるピンク色の蠟をガスバーナーであぶりながら、慎重に歯肉を彫る。その上に歯を並べていく。歯肉には歯根の盛り上がり彫る。よく見る入れ歯の元型が、魔法のように出来上がっていく。これを重合器に入れ、圧力をかけ加熱整形する。蠟の部分はとけ、そこにレジンと呼ばれるプラスチックを入れて、入れ歯が完成する。

「入れ歯や金冠を造っていると言えれば分かります」と語る下平聖志さん(技工)が、歯科技工士として本学の附属病院に、大きなスケールの仕事をしてきたのは七八年四月。も二十年以上の経験を持つ

歯は違う。例えは金冠を作る場合、患者の歯からとった型の削れ具合などから、歯ぎしりなどに弱れがちだった」と反省をこめて振り返る。「だ



歯科技工の下平聖志さん

「若いときは、いかに精巧なものを作るかというところに気をつけてきた」という。職人の枠を超え、医療に携わる者としての心構えが必要な仕事でもある。



鉱物標本の宮本誠さん

「薄」の区別がつかない。薄片を顕微鏡で見ると、結晶が光を反射して、赤や黄色が散らばり、万華鏡のようだ。「一つとして同じものがない。常に変化する自然を見られることが、魅力です」と宮本さん。

機械を超えた手の感覚

厚さ三十マイクロメートル(0.03ミリ)の紙の三分の一という薄片は、顕微鏡で鉱物の種類を鑑定したり、化石の構造を調べる

からだ。長年鍛え上げた宮本さんの勘が冴える。薄片作りは、まずダイヤモンドで埋め込まれた岩石カッターで、鉱物を横二センチ、縦三センチの直方体

は信用できません。鉄板で、ある程度削ってから仕上げる。ガラス板のずつ回転させなければならぬ。プレパレートに貼られた薄片の厚さを、器具で測定することはできない。手先で触った感覚と、光で透かして見た色の濃淡で測る。普通の人には「厚い」「薄い」の区別がつかない。

手描きに魂込めて

グラフ作りも製図も、パソコン全盛の時代に、あえて手描きの地図にこだわる職人がいる。地球科学系の宮坂和人さん(技術専門職員)だ。

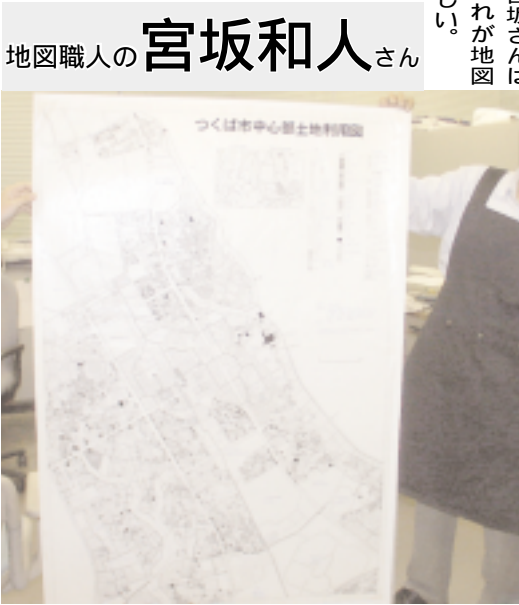
丸ペンの先に少量のインクを含ませ、線を一本一本、魂を込めるように引いてゆく。途中でかすれることも太さが変わることもない緻密な線。その線が「道」や「湖」「線路」になる。

丸ペン、烏口、コンパス、鉛筆で下図を描いたら、丸ペン、烏口、コンパス、平行線を引くハッチ定規など、多様な模様を描く。丸

丸ペンだ。思い返す。削り、調整する。丸ペンをリースする。直径が一ミリにも満たない円や、わずかに数ミリ間隔の斜線など、墨入れだけで約十時間(現・国土地理院)で地形

手彫りしていた。僕なんかとは月とスツポン」と尊敬都さんは言う。ガラス加工はまず段取りを考へることから始まる。きく、すぐに固まってしまう。さらに熱膨張でガラスは割れやすくなる。求めら

丸ペンの先に少量のインクを含ませ、線を一本一本、魂を込めるように引いてゆく。途中でかすれることも太さが変わることもない緻密な線。その線が「道」や「湖」「線路」になる。



「我々は、たいがい大雑把に注文してしまつて、彼はこの要望を見抜いて満足いくものを作ってくれる。不思議です」と。ガラス管が張り巡らされた実験室を案内しながら、青木真雄物理工学系長(同教授)が話してくれた。

「無理難題も楽しんで」

「自分たちが作った器具が実験の役に立ち、それがまた何かに貢献するかもしれない。縁の下の力持ちになりたい。こんな明都さんの思いが、大学の実験室を支えている。(本紙・望月和美=比較化学類)

地図職人の宮坂和人さん

ガラス加工の明都茂さん

筑波

「摺り」で拓く新漆器

「摺り」という技法で、田所さんは新しい技も、月二回東京に通う。漆器作りは土台になる木に漆を塗り重ねる。漆器作りは分業が普通だが、田所さんは木地から手作りで、いろいろな木地取りに取組んでいる。厚さ〇・三ミリ、均質にカンナがけした薄い板を重ね合わせ、使った木地を剥き、木地を圧縮、復元することもあつた。田所さん独自の木地だ。

木材加工の田所千明さん



田所千明さんは、生物・農林学系E棟の木材加工実験室で、木の香がぷんと漂う。中に作業着にエプロン姿の田所千明さん(農林工学系・技術専門職員)がいる。

ふき取る。塗る、ふき取る。と苦笑いする。伝統工芸の「摺り」という技法で、田所漆器を重んじる人から、所漆器のもう一つの特徴「邪道、話にならない」とだ。乾燥させながら三十回ほど繰り返す。一般に知られる木地の上の漆を幾層にも塗り重ねる技法とは対照的に、「摺り」は、木地の木目をそのまま見せる技法だ。「漆器の世界では異質」

刃物選びに光る技

灰色の作業服に身を包んだ。工作センターで金属加工を専門にする内田豊春さん(技術専門職員)は、元「アルカン」と仲間内で呼ぶ特殊な砥石を持つ「刃物を用意する力」で、職人の能力は決まる」と語る。最近、ステンレス製のノズルを製作した。液体の原



金属加工の内田豊春さん

者とのコミュニケーションをとりつ、工程を決定していった。ここで新しい知識を得るのも楽しい」と研究熱心な一面を見せる。ノズルは厚さを出るだけ薄くし、先端に三ミリの穴を開けなくてはならぬ。曲線の形状はコンピュータ制御の旋盤が加工し、回転に乗っている時に、ふとアイデアが浮かぶこともあつた。ノズルを製作した時は、試行錯誤をくり返し、作業開始までに一年間を使つた。結局実験に使われなかったけどと笑う。最近、技術の伝達を目指し、機械工作の実習に熱が入る。(本紙・山口圭一「社会学類」)



ラゲ テフォーミン

宇宙での食糧開発目指す

火星を第2の地球環境に

この課題に工学の立場から取り組んでいるのが「テラフォーミング」という学問領域だ。テラはラテン語で「大地」、フォーミングは英語で「つくる」とま



真空チャンバで擬似的に宇宙環境をつくる

「星の王子様」では、王子は小天体に住んでいる。この物語のように人類が天体に住むことは、果たして可能だろうか。

同じ太陽系で地球に最も近い火星を挙げる。だが、人類が火星に移住するには、どういったステップを踏むことになるのか。

橋本講師が考えるシナリオはこうだ。まず火星の極冠に塵をまく。極冠とは火星の南極や北極にスビルリナな

見られる白い部分で、主にドライアイス(固体の二酸化炭素)と氷からできていて考えられている。ここに黒い塵をまくと太陽熱の吸収が大きくなり、ドライアイスが昇華し、大気中の二酸化炭素が増加する。二酸化炭素は温室効果ガスなので、火星の温度を上昇させ、耐えることができた

のかが解明しようとしている。そのため、ロシアのミール宇宙ステーションのような種和な放射線環境で、十年以上も生物を培養する実験を提案中だ。結果によっては、宇宙開発の将来に目を向け

ケットの研究を行っている。このため、橋本講師だが、「ロケットの作り方はもう確立されていて、興味

が薄れた。そして「宇宙開発の将来に目を向け

た。人間や生物が宇宙に行くときに、何が問題になるかを探りたい」と、宇宙環境工学という分野に乗り出した。

「テラフォーミングは学際的な研究。植物学や地球科学など、実に様々な分野の知識を総動員して、問題を解決しなければならぬ」と話す。人口が爆発的に増大し、環境汚染が深刻化する近い将来、人類は宇宙に新たな住み家を求める。そのとき、橋本講師の技術は、人類の存続を支える鍵になるのかもしれない。

東大工学部在学中、比較文化学類)

茨城県茨城県郡小川町。三千坪の敷地に三十九棟のビニールハウスが並んでいます。このハウスこそが、私が有機栽培を研究・普及するための農場であり、私の職場なのです。

私は中国江蘇省の出身です。平成七年から筑波大学院農学研究科に在籍し、同十年同研究科の博士課程を修了しました。同年四月、土浦市に本社を置くアイアグリ株式会社(元新進株式会社)社長、玉造和男氏の農業に対する熱情に惹かれ入社し、現在では同社農業技術チームマネージャーに就任し、有機栽培の研究・普及活動を行っています。

化学肥料と農薬などの大量投入は近代的な農業の私自身、それが困難で

卒業生からの手紙



杜建明さん

失敗を重ねた有機野菜 認定を受けて全国各地へ

健康な土壌作り、四季による環境の変化に逆らわない多種類の野菜の選択による輪作システムの導入、害虫の施設内の繁殖を防ぐのではなく、その前の侵入を防ぐことによる防除の軽減と早期防除です。

現在、季節に逆らわない輪作システムに採用している野菜は、十品目程度ですが、今後、より一層、栽培野菜の品目の増加や圃場の拡大、この技術の普及に努力していきたいと考えています。なぜなら、私にとって有機栽培の成功はゴールではなく、あくまでも通過点であり、この成功によって、もっと有機栽培の普及活動というスタートラインから走り出したばかりだからです。

川西教授のエジプト調査団

ミイラ5体を発見

民間信仰の重要な手がかりに

エジプト中部のアコリス遺跡で発掘を続けている川西宏幸教授(歴史・人類学系)の調査団が九月七日、紀元前四世紀頃のものと思われるミイラ5体を発見した。コブラや人を模した土製品も見つかり、末期王朝期(紀元前一千頃〜同四世紀頃)の民間信仰などを解明する重要な手がかりとなりそうだ。



ミイラは、アコリス遺跡の南西にある崖に掘られた竪穴から見つかった。当時動物信仰が盛んだったことを示す土製品や、ヒビのミイラもあつた。ミイラは歯が全て抜け落ちてから、老人男性のものと思われる。

「ここは墓であると同時に、この地方の呪術的中心地であると言える。ミイラは宗教的指導者のものではないか」と、川西教授は見ている。

アコリス遺跡は、エジプト中部の都市、ミイラの北約十キロにあるナイル川東岸の都市遺跡。約四千五百年前から西暦七〇〇年頃まで、建材用の石材供給地として栄えた。川西教授は一九八一年から、毎年夏季に調査を続けている。

同遺跡ではこれまでに、地中海のロードス島から持ち込まれたと考えられるワイン壺が約三百個見つかった。ミイラは深さ五メートルの竪穴から見つかった(提供・川西宏幸教授、エジプト中部のアコリス遺跡)。

た。九百キロ以上離れた地と、盛んな交易があつたことを示す貴重な証拠だ。こ

CGの飛行体が飛び回る。手の動きによって飛行体を操作し、レースや対戦を行うゲームだ。

今回の受賞について原口さんは「初めて応募したコンテストで、結果が残せて嬉しかった。ゲームの内容のわかりやすさと、単純なMRを用いて企画した点が評価された」と話す。大学院では、原田昭教授(芸術学系)のもと、情報機器の操作を

「文学離れ」といわれるようになって久しい。確かに現代の我々は刺激的なメディアに囲まれており、感動的なストーリーも、骨太なメッセージも、漫画や音楽、或いはウェブサイトに溢れている。それでも、人間の想像力の営みの中で、文学の持つ力はやはり大きい。文学作品を通して、我々は人間の内面世界をのぞくことができる。他の民族・宗教・性に属する者たちの視線で、実際には当事者たり得ない事柄に関わること

「文学離れ」といわれるようになって久しい。確かに現代の我々は刺激的なメディアに囲まれており、感動的なストーリーも、骨太なメッセージも、漫画や音楽、或いはウェブサイトに溢れている。それでも、人間の想像力の営みの中で、文学の持つ力はやはり大きい。文学作品を通して、我々は人間の内面世界をのぞくことができる。他の民族・宗教・性に属する者たちの視線で、実際には当事者たり得ない事柄に関わること

原点 GEN-TEN

私は画家になりたくて東京の美術大学に入學し、自分の力で作品制作の材料を稼ぎたくて、卒業するとすぐに郷里の神戸で就職した。就職したため学生時代のように作品制作の時間が充分に与えられなくなった。そこで時間を確保するために思いついたのが、睡眠をとらないでも元気に生きていけるとすれば、人生の三分の一を使っている睡眠時間を作品制作に使えることになる。これは素晴らしい思いつきである。少なくとも睡眠時間を減らしても元気で

あれば良いのである。かなりのところまで頑張ったが、結局医者から忠告されることになった。治療方法は良く寝ると言うことであつた。

その頃、精神的な飢えに耐えていた八人の若者に出会った。そして私を加えた九人でグループ「位」という芸術家集団が結成された。個人が芸術の問題を追求するだけではなく複数の人間が議論したり共同思考をすることにより、表現の拡張が可能なのではないかと考えたからであつた。さらに表現者としての社会との接点が、個人対社会の関係から小さいけれども社会から社会への関係へと変化するのはないかと思つた。

でも私の原点として重要に思えるのは二回目の発表からである。一回展は夏、長良川河原で開催された「岐阜アンデパンダン・アート・フェスティバル」においてであつた。「穴」は文字通り大きな穴を野外会場の河原に九人が炎天下延々と掘り続けた作品だ。穴は実用的な目的で掘られるの

ない。したがって、掘った穴が他の実用的な目的に使用されないように会期中に埋めたのである。掘りそして埋めるといふ無償の行為を生きた私は、美術大学で勉強してきたことが音をたてて崩れていくような不安と同時に、表現における限り無き自由への冒険心を発見した。その時、私は画家から芸術家になろうとしていた自分を見つけた。

その後のグループ「位」の活動を紹介します。紙面はながいので、私が初めに考える時必ずグループ「位」の活動を思い出す。

「穴」は純粋に穴を存在させるために掘られた穴であつて、いかなる意味においても実用的な目的は



河口 龍夫

かぐちたつお 芸術学系教授 一九四〇年生まれ。六五年にグループ「位」を結成。素材や方法にとらわれない発想と制作で、日本の現代美術を先導してきた。

「穴」は純粋に穴を存在させるために掘られた穴であつて、いかなる意味においても実用的な目的は

「穴」は純粋に穴を存在させるために掘られた穴であつて、いかなる意味においても実用的な目的は

「穴」は純粋に穴を存在させるために掘られた穴であつて、いかなる意味においても実用的な目的は

天上大風~伝統文化の競演~

開学記念館で「和」の空間を 伝統文化系9団体が演出

化の競演が九月二十三日開学記念館で行われた。秋晴れの中、百六十人ほどの客が訪れ、「和」のひとときを楽しんだ。

このイベントは、昨春秋今年春に続いて三回目。各サークルが日頃の活動の成果を披露し、多くの人に日本の伝統文化に親しんでもらうことが目的だ。

今回は、華道クラブ、歌留多部、茶道部和敬静寂社、同企画「天上大風」伝統文書道部、津軽三味線倶楽部

無絃塾、筑波能・狂言研究会、邦楽部、焼き物を作る会、落語研究会が参加した。正午、邦楽部の演奏で開幕。部員による「もみじ」(岡野真一作曲)は華やかな音色で観客を酔わせた。続いて無絃塾の津軽三味線がテンポのよいダイナミックな演奏を披露。

原口さんが審査員賞

生活空間の中に、CGの映像を埋め込んでいく技術、MR(複合現実感)その技術を用いたエンターテインメントソフトのコンテスト「MREC2002」(主催・複合現実型エンジニアリング協会)で、人間総合科学研究

科一年、原口俊吾さん(写真)が審査員賞を受賞した。賞状と賞金十万円が贈られた。審査員の中には、本学卒業生の岩井俊雄氏も参加している。

三回目となる今回のコンテストでは、全国から四十二作品が応募。一次審査で企画書が、二次審査ではビデオなどを示したプレゼンテーションが審査された。原口さんが審査したのは「ブレッド・シッパス」という作品。現実空間の中で

「クローエ」(利重剛監督作品)の原作としてご存知の学生諸君もあるかも知れない。詩人、小説家、シャボン作家・歌手、ジャズ・トランペット奏者、といった多くの顔を、持って二十世紀のフランスを駆け抜けたボリス・ヴィアンの作品である。シャボン玉がバスマツ

トから噴き出し、水道の蛇口からはうなぎが出てくるという幻想的な世界におけるコロンとクローエの物語は、レイモン・クノーによって、現代の恋愛小説中最も悲痛なものとして評された。しかし、単なる恋愛小説としてだけでなく、いろいろな読み方ができるのも、本書の魅力だ。SFと読むのも、不条理の世界に没るもよい。ジャズ・フリークのナンセンスな夢に過ぎないと突き放すこともできるだろう。どのよう

の魅力を、SFと読むのも、不条理の世界に没るもよい。ジャズ・フリークのナンセンスな夢に過ぎないと突き放すこともできるだろう。どのよう



原口 俊吾

科一年、原口俊吾さん(写真)が審査員賞を受賞した。賞状と賞金十万円が贈られた。審査員の中には、本学卒業生の岩井俊雄氏も参加している。

三回目となる今回のコンテストでは、全国から四十二作品が応募。一次審査で企画書が、二次審査ではビデオなどを示したプレゼンテーションが審査された。原口さんが審査したのは「ブレッド・シッパス」という作品。現実空間の中で

「クローエ」(利重剛監督作品)の原作としてご存知の学生諸君もあるかも知れない。詩人、小説家、シャボン作家・歌手、ジャズ・トランペット奏者、といった多くの顔を、持って二十世紀のフランスを駆け抜けたボリス・ヴィアンの作品である。シャボン玉がバスマツ

トから噴き出し、水道の蛇口からはうなぎが出てくるという幻想的な世界におけるコロンとクローエの物語は、レイモン・クノーによって、現代の恋愛小説中最も悲痛なものとして評された。しかし、単なる恋愛小説としてだけでなく、いろいろな読み方ができるのも、本書の魅力だ。SFと読むのも、不条理の世界に没るもよい。ジャズ・フリークのナンセンスな夢に過ぎないと突き放すこともできるだろう。どのよう

の魅力を、SFと読むのも、不条理の世界に没るもよい。ジャズ・フリークのナンセンスな夢に過ぎないと突き放すこともできるだろう。どのよう

の魅力を、SFと読むのも、不条理の世界に没るもよい。ジャズ・フリークのナンセンスな夢に過ぎないと突き放すこともできるだろう。どのよう



非現実の中で際立つ人間の本质 日々の泡

ボリス・ヴィアン著

「クローエ」(利重剛監督作品)の原作としてご存知の学生諸君もあるかも知れない。詩人、小説家、シャボン作家・歌手、ジャズ・トランペット奏者、といった多くの顔を、持って二十世紀のフランスを駆け抜けたボリス・ヴィアンの作品である。シャボン玉がバスマツ

受賞者一覧 石塚修講師(文芸・言語学系) 二〇〇二年度日本読書学会研究奨励賞 堀部洋典(システム情報工学研究科一年) 第一回通信・回路システム国際会議優秀論文賞 今井弘教授(機能工学系) 第二十七回コンクリート材料・構造会議論文賞 八戸真弓(生命環境科学研究所三年) 第三回世界アレルバシ会議優秀ポスター賞 岡本典子(生命環境科学研究所三年) 二〇〇二年度日本農村生活学会奨励賞

谷本 アジアに一本勝ち

第14回釜山アジア競技大会



決勝戦1分3秒、谷本(写真上)の払い腰に、チ・ギョンスンが宙を舞う (韓国釜山・久徳体育館で=提供・共同通信社)

競泳 永井は銀4 銅1

漕艇 大澤 決勝に進出

柔道

谷本が投げた。釜山アジア大会3日目の10月1日、女子63キロ以下級で、谷本歩実(体育3年)が金メダルを獲得した。個人戦では10力月ぶりの優勝。しかも初戦から全て一本勝ち。来

賀俊彦、女子強化コーチは谷本に言った。「自分の力を信じて」

その一言でひらきあつた谷本は1分13秒、あえて内またの体勢から払い腰をかける。「これまで一番きれいに技がかかった」と、自身も驚く鮮やかな一本勝ちだった。

4月の全日本選抜体重別、6月の全日本学生体重別と、準備に甘んじた。別と、準備に甘んじた。別と、準備に甘んじた。

大澤は「悔しいけれど、大きな大会に出場するのは初めてだったので、良い経験になった」と話していた。結果は以下の通り。

予選 8分16秒77 2位敗退 敗者復活戦 8分14秒80 2位・決勝進出 決勝 9分40秒94 5位

大澤真子(体育2年)は決勝まで進出したが、惜しくも5位に終わり、メダルには届かなかった。

大澤は「悔しいけれど、大きな大会に出場するのは初めてだったので、良い経験になった」と話していた。

剣道男子が全国制覇 女子ハンド三冠達成

剣道

全日本学生剣道優勝大会が今日13日、大阪府立体育会館で行われ、本学は二年連続、9度目の優勝を飾った。9月16日に行われた第51回関東学生剣道選手剣道大会でベスト8に入り、出場権を得た。

大会1カ月前、主将の内田勝之(体育4年)が骨折したが、それを逆手に、部員が一団になった」と鍋山隆弘監督(体育科学系講師)

は話す。試合結果は次の通り。

この結果、11月10日に、愛知県武道館で行われる第21回全日本女子学生剣道優勝大会に出場する。

高森銅2つ 世界学生卓球権大会が9月4日から8日まで、ポーランドのウロツ

クフで行われた。本学から高森英郎(体育4年)が日本代表として4種目に出場。男子団体、同ダブルスでもベスト4入りし、銅メダル2つを手にした。

野球 首都大学秋季リーグ(9月11日から・神奈川県平塚球場など) 筑大4 3

常勝女子、無敵の13連覇

陸上



アベックV2は成らず

第71回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)が9月6日から8日まで、東京・国立競技場で開かれた。本学陸上競技部女子は13年連続14回目の優勝。男子は東海大に8点差をつけ

られ、2位に終わった。もはや無敵の女子は、初日から大学対校首位を独占。やり投げの中野美沙(体育3年)は、自己ベストを2メートルも更新して優勝。さらに記録を伸ばしていきたく話した。

男子は2日目で思ったような得点が出せなかった

が、その中で砲丸投げの村川洋平(同)が優勝した。最終日の3日目は、40メートル障害の河北尚広(同4年)ら短距離勢が追い込みをみせた。

昨年の同大会では、アベック優勝という快挙を成し遂げた。尾懸賞監督(体育科学系助教授)は、女子に

ついて「期待通りの楽勝ではあったが、福島大などの追い上げも急ピッチだ」と気を引き締めている。

1位の選手は次の通り。

男子 三段跳び 石川和義(体育2年) 16メートル 砲丸投げ 村川洋平 17メートル 400メートル障害 河北尚広 50秒28 総合得点 84・5点 2位 東海大(92・5)

女子 100メートル 黒澤茉莉子(同3年) 12秒03 5000メートル



フィニッシュする黒澤(写真右、国立競技場で=提供・陸上競技部)

硬式庭球部 細川雅代 選手(体育1年)



得意の攻め 1年生で王者に

女子シングルスで1年生ながら優勝。次いで全日本学生テニス選手権大会(同・8月11日)女子ダブルスでも、西田純子選手(体育4年)とのペアで見事優勝している。

「勝つ喜び、それがテニスの楽しさです。その語る細川雅代選手(体育1年)は、硬式庭球部期待の新人だ。

関東学生テニス選手権大会(昭和の森テニスクラブ・5月20日)

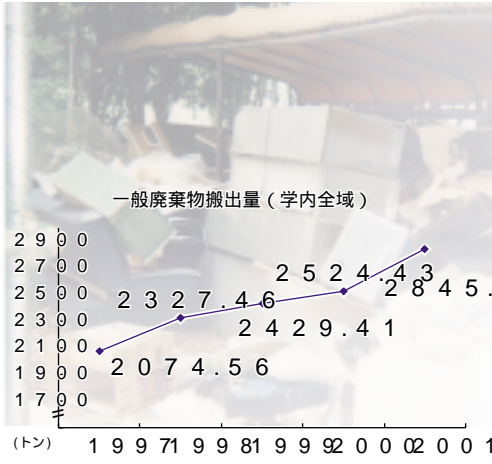
女子シングルスで1年生ながら優勝。次いで全日本学生テニス選手権大会(同・8月11日)女子ダブルスでも、西田純子選手(体育4年)とのペアで見事優勝している。

で優勝、大阪市長杯「テニスを通じて他大学

文化学類)

の友人が多くて嬉し

ズルアップ



年々増加してゆくゴミの量に、関係者は頭を痛めている(写真は今年7月、廃棄物であふれかえった平砂宿舎のゴミ置き場、経理部調達課提供)

学生の捨てるゴミ

捨てる人がいれば、当然の事ながら片付ける人がいる。しかし、本学学生の目の余るマナーの悪さが、大学のみなさん、つくば市をも困らせている。

本学で出されるゴミの量は、宿舎地区を含めた全学で年間二千八百四十五トンに及び、年々増加傾向にある。一日あたりでは七・八トンになる。その処分費用は年間約八千万円だ。

学内で排出されるゴミは、一般の家庭ゴミと異なり、事業所ゴミとして処理される。集められたゴミは、大学から委託を受けた筑波学園環境整備が一括して回収し、筑波グリーンセンターで処分される。

宿舎地区

マナーの悪さが顕著なのが宿舎地区だ。ゴミ集積所からあふれ出すゴミはおそらく誰もが目にしていることだろう。

学生部厚生課の宮城弘松さんは「宿舎に住む学生のマナーが年々悪くなっている。最低限、きちんと分別をして、決められた曜日、場所に出すようにしてほしい」と話す。宿舎入居者には、入居時のオリエンテーションでゴミの出し方を説明するとともに、

宿舎地区はゴミの無法地帯 アパートでも意識変わらず

各部屋にしおりを配布するなどして注意を促している。しかし、分別の方法やゴミ集積所にゴミを放置されると、片づけるのが大変だ。分別できないゴミを仕分けするのでも、私たちがやっているんですよ」と苦労を語る。

粗大ゴミ置き場に、一般のゴミを投げ捨てる学生もいる。筑波学園環境整備の菊地幸男さんは「粗大ゴミ置き場に、ばらばらに普通のゴミを捨てられるのが一番困る。いちいち拾って、回収するのはとても大変な作業。学生ももう大人なんだから、市民としての意識を持って行動してほしい」と話す。

アパートでも

学生のマナーの悪さに頭を抱えるのは大学ばかりではない。アパート暮らしの学生が多い春日や天久保地区でも状況は変わらない。ここでのゴミ処理の管轄はつくば市。清掃員がいないため、散らかされたゴミは、そのまま放置されることになる。付近の住民から大学に苦情も絶えない。

つくば市役所市民環境部こみ対策課主事の蓮田裕一さんは「学生が多い地区の集積所は他の地区より明らかに散らかっている。管理しきれない地区では、集積所の再編を強いられている。宿舎気分のまま捨ててもらっては困る」と語気を強める。

家電リサイクル法で所有者が処分を義務づけられている冷蔵庫や洗濯機が、ゴミ集積所に不法投棄されていることも多く、それらは全て、市が税金を使って処分している。

「まだまだ使えるものも多いので、リサイクルに回すなど、有効活用を図って欲しい」と蓮田さんは話している。(本紙・阿部智浩「社会学類」)

筑波米

ここところ急に、風が冷たくなった。気づかぬうちに筑波にも秋が訪れていた。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。いろんな秋があるが、私は断然、食欲の秋である。スパーに並ぶ柿やみかんを弾ませ、きのこがたつぷりの鍋に心身共に温まった。幸せである。そしてこの時期恋しくなるのが、新米の味だ。

先日、初めて農林技術センターを訪れた。敷地内にある水田に、見渡す限り黄金色の稲穂がたれる。その広さはなんと二・三ヘクタール。思わず目を丸くした。収穫量は約十・五トンにもなるという。昨年からは学内外に向け、販売が行われている。真正銘の筑波米。なかなかの売れ行きらしい。しかしこの広さ。ここは大学構内なのだろうか。

全国第二位の敷地面積を誇る筑波大。「さすが」と納得。筑波らしさをいっぱい吸い込んで、実りの秋を実感した。(ちこ)

実りの秋を実感

その日の夜八時頃、私は珍しく料理をしていた。食費を抑えるための苦肉の策である。スクランブルエッグのような目玉焼きを焼いていた。「ピンポン」と、ベルを鳴らす音がした。てっきり新聞屋さんだと思っただけに、ドアを開けた。「こんばんは。NHKです。集金お願いします。」

しまった！NHKの集金員が来たのだ。僕は恐ろしさのあまり背筋が凍り、手がプルプル震えた。秋になったのもう大丈夫だろうと、すっかり油断していた矢先の出来事だった。

さすがはプロフェッショナル。有無を言わずに、住所と氏名を書かされてしまった。僕は呆然自失のあまり、自分の名前欄に親の名前を書いてしまった。「では、三カ月で二千七百元です。動弁してくれ。私は泣き

NHKの集金

その日から私の生活は一変した。夜十時までは料理もせず、テレビ・ラジオもつけないことになった。部屋にいたのがばれないようにするための。お金も、二千元以上は家に置かないことにした。これなら、いくらしつこく金を出せと言われても、無いものは出せない。戦時下のような私の生活はいつまで続くのだろうか。(森田浄雲入道)

生活はまるで戦時下

大学新聞に初投稿の人間学類二年、森川大和といいます。この度俳句集「ヤマト19」を自費出版しました。この句集には、高一から今春までの、二百四十九句が収録されています。出版費用は大学に入ってから貯めたバイト代という、自分にとって

句集を自費出版

「彼の作品には、様々な彼の横顔と好奇心が見え隠れする。妙に理屈っぽいと思えば、妙にセンチメンタル。そこには、移ろいやすい年齢の移ろいやすい素顔が、ありありと在る(我が師匠、夏井いつき氏の前書きより)。

私は「俳句」という特技をいかして、昨年AC入試に合格しました。今でも月に二、三度は東京に向き、東大・早慶大の

土浦花火大会

毎年恒例の土浦花火大会に、今年も行った。予想通り車は大渋滞でにっちもさっちもいかない状態。そんな文明の利器を尻目に、人力二輪車で颯爽と行く。

ところが、いざ着いてみると思わぬアクシデントが。去年は確保できた花火鑑賞スポットが、今年には温厚そうな警察のおっちゃんによってやんわりと強制撤去させられてしまった。「友達と待ち合わせで携帯が使えないから……」と意味不明な言い訳をしてみたがダメ。それならば仲良くなること、

警察に甘えたけれど……

「大変ですね……」みたいな感じで話かけたら、いろいろとグチを聞かされてしまうはめに。警察は問題を起さないようにするのが当たり前で、起こしてしまうとメディアから叩かれるなど。なんだか「悪いな」と江戸っ子人情をかき立てられて返り討ち。

でも結局、花火も始まってそこに人が集まってくると多勢に無勢。警察のおっちゃんの声もむなく、花火の音にかき消された。「おっちゃんこめんよ」と思いながらその群衆に混ざって見上げた花火はちよびり切なく、でもきれいだった。(じゅん)

俳句仲間 連絡ください!

仲間達と、句会に通うなどして切磋琢磨し合っています。ではここで、新着ほやほやの句集「ヤマト19」の内容を一部お見せしちゃいます。

「受験子の光沢のある唇よ」 (新歡の俳句)

「酸欠の金魚のような恋である」 (熱風をあびてやどかりさい宿舎ボクスター) (やど祭の俳句)

「一万字の自己推薦書秋の風」 (AC入試の俳句)

「ベスト4ならず小春にくりだしぬ」 (スポーツデーの俳句)

「鉄琴の音に枯野の生れけり」 (私はこの句集を、二十歳までに何かを残したいという動機から出版しました。もしこの投稿を見て、句集または俳句活動そのものに興味を持たれた方がおられましたら、以下のメールアドレスに、「一報頂ければ幸いです。s10719@pe.suisaku.ac.jp

アムネスティ講演企画

日時 10月25日(金)
 開場 18:00 開演 18:30
 場所 第一学群D棟204号室
 講師 高岩 仁氏
 演題 開発・ODA・投資と人権侵害
 フィリピン・ミンダナオ現場取材の緊急報告

入場料 200円(資料代として)
 主催 アムネスティ・インターナショナル筑波大学グループ
 連絡 090-9920-5851(田村美)

やってみませんか、日本舞踊を!!

古典芸能である日本舞踊は、今では近いようで一番遠い存在になっております。今一度、この様な現状を見直したいと思い、国籍、男女問わず興味のある方を募集致します。日本舞踊の技術的な基礎だけではなく、各作品の時代背景等を学びながら、自分なりの解釈で表現してみませんか。是非、興味のある方ご連絡下さい。

連絡先 0298-56-8576 (美作百合佐保)
 学内連絡先 内線4927 古川理恵(5時以降にお願いします)
 e-mail mimasakarinn222@yahoo.

天高くペテ肥ゆる秋

第28回雙峰祭

統合ステージ昼夜大盛況

皿回収、今年も行わず

第二十八回雙峰祭が、「ブレイク・マス・コンセプト」をテーマに十月十二日から十四日の三日間にわたって行われた。連日晴天に恵まれ、模擬店、学術企画とも大盛況だった。(本紙・時田備憲、山口圭一「社会学類、黒田阿紗子、鈴木恵梨奈、中村あけ、沼尻知子、廣野郁恵」比較文化学類、伊木緑「国際総合学類」)

雲一つない爽やかな秋晴れのもと、雙峰祭が開幕した。今年は三百七の企画が参加、うち模擬店は百九十二企画だった。一昨年から取り組んできた、皿の回収リサイクルは行われなかった。また、二・三学池間の

水上ステージを廃止し、石の広場に統一(UNITEステージ)。これは照明と音響機材の効率化をはかるためだ。

初日、正午から七人組みのプラスチックバンド、プラスチック・ボトム・プラスチック・バンドによるライブが、松美池ステージで行われた。客席で踊りながらトロンボーン

を吹くなど、愉快なパフォーマンスで観客を沸かせた。午後一時からは、大会館講堂で二年ぶりに映画祭が行われ、「ロード・オブ・ザ・リング」が上映された。

二日目は、二学食堂芝生前で開催されたフリーマーケット祭の賑わいととも開幕をあげた。「四月から準備していた」という手作り陶器を販売する店もあり、終日人が絶えなかった。

午後八時五十分からは、UNITEステージで沖縄県人会「ハブ」によるエイサーが行われた。伝統衣装に身を包んだ約四十人のメンバーは、太鼓と三味線で奏でる独特の音色にあわせ、勇壮な舞いをみせた。

三日目の午後七時半、UNITEステージに設置されたスクリーンはカウントダウンを映し出す。花火が打ち上げられると、観客は歓声を上げた。後夜祭の幕

留学生 5大陸の味を披露

七カ国の留学生が独自の食文化を披露。「ケロバルカフェ」は、留学生七人が集まって開いた模擬店。オーストラリア、セネガル、ブラジル、ホンジュラス、マレーシア、ラオス、ルーマニアと全員出身が違う。入学時から仲良しだが、今回が初めての出店だ。メニューは五大大陸の食べ物。アジアはカシューナッツのサラダ、ヨーロッパはフランスパンのサンドイッチ、アフリカは「パフ」というミートパイ、オセアニアはキウイドリンク、アメリカはパッションフルーツのアイスといった具合に、主食からデザートまで一通りそろっている。

ムースには、マラクジャというパッションフルーツの果汁が入っている。マラクジャはブラジル人の常食。夏休み、ブラジルに帰省したフェルナンデス・ジュニウスは、マラクジャを完売した。

パフを買った杉谷幸愛さん(自然二年)は「おいしくて、思わず材料を聞いてしまいました」と笑顔。セネガル出身のチョンガヌ・ミシエルさん(国際三年)は「自分の国の好きな食べ物をアピールしたかった。大切な仲間との思い出になった」と満足そうだった。



筑波太鼓組合の力強い演奏に聴衆は酔いしれた(1日目、UNITEステージで)

大塚英志氏 戦後憲法を語る NASDA見学に86人参加

大塚英志氏講演会
二日目、午後一時からH2Oで大塚英志氏の講演会が行われた。大塚氏は本学人文学類出身。漫画原作者として活躍する一方、政治や文学の評論家としても活躍している。

講演のテーマは「戦後の日本」。前半は戦時中、戦後の漫画を取り上げ、手塚治虫が戦後に描いた、漫画中のリアリズムについて説明した。後半は、反米意識に基づいた憲法改正論に異議を唱え、日本人一人ひとりが、憲法を自分の分りやすい言葉に置き換え、それを他人と共有することの重要性を述べた。

質疑応答で積極的な意見交換がなされた後、サイン会が催された。講演終了後、大塚氏は「つくばにくるのは、二十年ぶり。私が学生だったころ、女子学生は全員ジャージ姿だったが、今はみんなおしゃれで驚いた」と笑顔で話した。

研究所ツアー
昨年、加速器センターとプラズマ研究センターを見学し、好評だったこの企画。今年はNASDAへの見学ツアーが催された。昨年の倍、八十人の参加を予定したが、キャンセル待ちが相次ぐほどの人気を集めた。



海洋研究会はスキンドビングで採集した熱帯魚を展示した(1D308で)

広島県人会

オタフクソースが支援 売り上げは過去最高に

広島県人会が出店する。十五年以上続いている。一、二台の貸し切りバスで移動。人工衛星の模型などを見た後、一同はセキユリティーエリアへ。宇宙ステーションの一部となる研究室「きぼう」を見学。全長十一・二メートルの巨大さに参加者は目を見張った。

広島から学園祭を訪れた参加者からは、「高速バスでNASDAの前を通る度に開けだ。DJ・AKIがステージに登場し、メインイベントであるディスコが始まった。大音量で響く音楽に合わせて声を上げ、体を揺らす。会場全体が一体となって祭りの雰囲気になった。中枝真一、学園祭実行委員長が、「この雙峰祭が皆さんの明日からの変化につながる」と締めくくりに、熱狂に包まれて雙峰祭は幕閉じた。

5期生ホームカミングデー

今回も、設備がひどい 大学は積極的に広報を

卒業生を招き、大学との交流を深めるとともに、貴重な意見、提言を聞くというホームカミングデーが十月十三日に開催された。今回、母校を再訪したのは、第五期(一九七八年四月)入学者八十九人。雙峰祭で賑わう中、大学周辺ガイドや座談会、記念撮影、懇親会が行われた。

座談会は大学会館三階、(本社広島市・西区)が、戦後五十年を記念して、各地の学園祭に貸し出したもの。代表者が広島本社に貸し出しの申し出をしたところ、県人会の活動業績が認められ、特別に譲ってもらった。

今回はこれに加え、ソース、青ノリ、小麦粉といったお好み焼きの材料も、一部は広島から直接送っても

警察が防犯ビラ配布

「学生向け」物々しく

茨城県警察本部、つくば中央警察署、本学学生部学生課職員ら総勢三十人による、学生向けの「防犯キャンペーン」が九月十七日夜、平砂宿舎周辺で行われた。これは、頻発する恐喝や自転車の盗難などを受け、学生に徹底した防犯意識を持たせることがねらい。犯罪

警察が防犯ビラ配布

罪に対する警報を載せたビラ三百枚を配布した。

午後十時、制服に身を包んだ警官らが、野球場入り口と平砂宿舎入り口に集合。警官が整然と立ち並ぶ物々しい雰囲気、学生も一様に驚いた様子。

つくば中央署には毎日十件以上の盗難届が出される。中央署管内の盗難被害のうち、約二〇%を本学が占める。「一般人だけの関与は考えにくく、学生間の盗難もあるだろう」と語るのは、警備部長。この「防犯キャンペーン」は本来ならば一般市民に向けてやるもの。筑波大生だけ相手にしているのは、かなり異常だということを理解してほしい」と訴えた。

Who's Who?

国内最大級のナウマン象の化石を見つけた



伊藤 光弘 教授 (数学系)

「たまたま転がっていたんです。前から大物を一度見つけてみたいと思っていましたから、うれしかったです」

自然地理学のレポートを書く材料に、と言う大學生の娘に連れられて、伊藤光弘教授(数学系)は、息子と三人で家の近くの花室川に向かった。

多彩な趣味持つお父さん いつかは本業で大発見を

何日か前に来た台風のせい、河岸がけずられていた。そのため化石の顔を出したようだ。見つけた化石は約1万6千年前に絶滅したとい

前、工業技術院(当時)の地質標本館(つくば市東)などが主催した、花室川の化石探索会に参加したこともあった。そこで象牙の化石を見つけたことがあり、「何か見つかれば」という期待はあった。

普段の伊藤教授は、化石と似てもつかぬ微分幾何学の研究をしている。アインシュタインの

「数学の先生には多趣味な人が多いですね。私はテニスもやります。ただ、最近の若い人は研究熱心なのか、あまりやらないですね」

趣味で視野を広げれば、机の上ではできない発想が生まれてくる。「化石と」一緒に、数学もふとしたときに答えが見つかるんですよ。現在、数学の同じ問題をもう3、4年も考えているそうです。「ナウマン象みたいな大発見を、数学でもしてみたいです」

(本紙・廣野郁恵「比較文化学類 撮影・松尾洋平」人間学類)



附属図書館

貸し出し冊数が2倍に

図情図書館も利用可能

附属図書館の貸出冊数が今月1日から、学群生は5冊から10冊に、大学院生は10冊から20冊になった。貸出時間も平日は9時30分開始から9時開始に早まる。

図書館情報大学との統合を契機に、利用者サービスの向上をはかった。図書館情報大学附属図書館は、本学春日キャンパスの図書館情報学図書とつながった。本学の学生も現在の学生証で利用できる。図書館情報学図書には、図書館学、情報学の蔵書が充実している。ホームページなどから、図書館情報学図書館の蔵書の検索も可能となっている。

大学公式HP iモード版開設/バス時刻の検索も

筑波大学公式ウェブページ携帯端末版が新しく開設された。メインページからは、学

11月1日ノバホールで

第12回桐葉ノ舞

応援団桐葉の「第12回桐葉ノ舞」が11月1日、ノバホール(つくば市吾妻)で開催される。

開演は午後5時半、開演は6時で、入場料は無料だ。企画内容は、チャリティーイング、マーケティングドリル、健康さん・社工3年)まで。

内バスだけでなく、東京行き高速バス、開鉄の路線バス時刻も検索することが可能だ。現在、対応機種はドコモ

スチューデント

フォトコンテスト開催 作品募集 11月29日まで

学生向け広報誌「スチューデント」は、第1回フォトコンテストを行う。第一回テーマは「筑波大学」。本学の学生(院生・研究生などを含む)・教職員・卒業生(修了)生などが応募できる。

審査には芸術学系の教員も加わるので、芸術性の高い写真でも挑戦できる。締め切りは11月29日。詳しい応募規定は、スチューデント509号10頁に掲載している。

次号は 11月18日(月) 発行予定

Tsukuba INFORMATION of CULTURE

つくば美術館 0298-56-37

安井賞40年の軌跡展 10月3日(木)~11月4日(月)
内容=絵画
一般380円 大学・高校生280円 中学・小学生180円

第21回 茗溪学園美術展 11月9日(土)~11月17日(日)
内容=総合 無料

ノバホール 0298-52-5881

筑波大学吹奏楽団 第48回定期演奏会 10月26日(土) 18:00~
全席自由 前売 一般400円 小中学生200円 当日100円増

伊藤康英:吹奏楽のための交響詩「ぐるりよざ」他
第22回合唱団むくどり定期コンサート ~好きなうたができました

10月29日(火) 19:00~
無料 木下牧子:混声合唱組曲「うたよ!」他

筑波研究学園都市吹奏楽団 第16回定期演奏会 11月3日(日) 14:00~
全席自由 500円 指揮:野宮敏明
ヒュルギー:ハンス・クリスチャン・アンデルセン組曲 他

筑波大学管弦楽団 第52回定期演奏会 11月4日(月) 14:00~
全席自由 前売800円 当日1000円
指揮:小田野宏之 プラームス;交響曲第3番 他

ゲヴァントハウス弦楽四重奏団 演奏会 11月16日(土) 15:00~
1A席3000円 B席2500円 C席1500円
モーツァルト:弦楽四重奏曲第14番 「ハイドンセット第1番」 他

つくばカピオ 0298-51-2888

【ホール】
つくば舞台芸術フェスティバル2002

tpt「蜘蛛女のキス」 10月26日(土) 開場17:30 開演18:00
全席指定S席4000円 A席3000円
作:マヌエル・プイグ
出演:山本亨 北村有起哉

エクス・マキナ「月の向こう側」 11月3日(日) 開場13:30 開演14:00
11月4日(月・祝)
全席指定S席4000円 A席3000円
作・演出:ロベール・ルパージュ
出演:イブ・ジャック

リティーヴォ プラスアンサンブル~つくば公演2002 11月13日(水) 開場18:00 開演18:30
全席自由 一般1500円 高校生以下1000円

大学会館書籍部ベストセラー

1	海辺のカフカ(上)	村上春樹/新潮社
2	海辺のカフカ(下)	村上春樹/新潮社
3	理由	朝日新聞社/宮部みゆき
4	生きかた上手	日野原重明/ユリイゲ
5	読書力	斎藤孝/岩波書店
6	老いてこそ人生	石原慎太郎/幻冬舎
7	「田中真紀子」研究	立花隆/文芸春秋
8	青空のむこう	アレックス・シアラー/求龍堂
9	覗き小平次	京極夏彦/中央公論新社
10	パーク・ライフ	吉田修一/文芸春秋

BEST SELLER

9月の1、2位は村上春樹の長篇小説下り最新作『海辺のカフカ(上・下)』。15歳の誕生日、少年は家を出た。一方、ネコ探しの老人、ナカタさんも西へと向かう。暴力と喪失の影を抜け、世界と世界が結びあわされるはずの場所を求めて

10月の催事は、歴史書懇話会ブックフェア(15%オフ、31日まで)、ハリウッドスター第4巻発売に伴うコーナーの設置(通常通り10%オフ、10月23日から)。